令和２年度　第１回鳥取県がん診療連携協議会　議事要旨

日　時　令和２年７月 17 日（金）15:00～16:50

場　所　会議室３・４（第二中央診療棟２階）

出席者　原田　省　（鳥取大学医学部附属病院長）
武中　篤　（鳥取大学医学部附属病院　がんセンター長）
中村　誠一　（鳥取県立中央病院　外科部長）
吹野　俊介　（鳥取県立厚生病院 副院長）
松岡　正尚　（米子医療センター　杉谷篤副院長 代理）
小寺　正人　（鳥取市立病院 診療局長・がん相談支援センター長）
皆木　真一　（鳥取生協病院　院長）
陶山　和之　（野島病院 乳腺・内分泌外科部長 代理）
坪倉　知子　（山陰労災病院　野坂仁愛副院長　代理）
小林　哲　（鳥取県医師会　渡辺憲会長　代理）
植木　芳美　（鳥取県福祉保健部理事監兼健康医療局長）
谷　俊輔　（鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課長）
萬井　実　（鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課長）

欠席者　西土井　英昭（鳥取赤十字病院 院長）
角　賢一　（博愛病院　副院長）
岡田　克夫　（鳥取県医師会　常任理事）

陪席者　【鳥取県】
小林　一義　（鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室長）
岡垣　亜矢子（鳥取県中部総合事務所福祉保健局健康政策課 課長補佐）
高橋　千晶　（鳥取県西部総合事務所福祉保健局健康支援課長）
小野澤　裕子（鳥取市保健所健康・子育て推進課長）
藤本　晶　（鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室）
宮脇　香織　（鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室）
【鳥取大学医学部附属病院】
大山　賢治　（鳥取大学医学部附属病院　緩和ケア科　科長）
矢内　正晶　（鳥取大学医学部附属病院化学療法センター　医師）
上田　恵己　（鳥取大学医学部附属病院外来化学療法室　看護師長）
舩越　美華　（鳥取大学医学部附属病院医事課事務職員）
宮田　幸宏　（鳥取大学医学部附属病院事務部長）
浦田　明宏　（鳥取大学医学部附属病院総務課長）
井中　康夫　（鳥取大学医学部附属病院医事課長）
大島　佐千子（鳥取大学医学部附属病院医事課副課長）
角田　ひろみ（鳥取大学医学部附属病院総務課法規・評価係長）

秦野　秀雄　（鳥取大学医学部附属病院医療福祉支援センター）

部会員　【鳥取県立中央病院】
浦川　　賢　（緩和ケア部会）
【米子医療センター】
原田　賢一　（相談支援部会）
松波　馨士　（緩和ケア部会）

【鳥取大学医学部附属病院】
岡本　幹三　（がん登録部会）
吉岡　　奏　（相談支援部会）
大石　徹郎　（手術療法部会）
福田　哲也　（化学療法部会）
吉田　賢史　（放射線治療部会）
小野　康之　（放射線治療部会）

議事に先立ち原田協議会長からの開催挨拶に続き、武中センター長が司会進行をつとめる旨の説明があった。

〇協議事項

1. がん診療連携協議会委員及び各作業部会長、副部会長の承認について

武中委員から、資料 1-1、1-2 に基づき、協議会委員及び、作業部会長、副会長の委嘱について説明があり、協議の結果、これを承認した。また、任期は委嘱日から令和 4 年 3 月 31 日までとすることの説明が併せてあった。

2. 今年度の作業部会活動計画について

資料 2 に基づき、各部会から説明があった。

がん登録部会について、岡本部会長から、がん登録の精度向上、認知度を高めることを今年度の目標とし、それに伴い一般及び、医療関係者が求めるがん情報についてのアンケートの実施を計画している旨説明があった。

相談支援部会について、吉岡部会長から、新型コロナ感染症拡大の影響による各病院のサロン活動の現状報告の後、各病院の情報をとりがんネットへ掲載し、随時情報を発信する旨の説明があった。また、中国地区地域フォーラムへの参加や県内でがん相談員の研修会を開催するなど、がん相談員のスキルアップを目指すと説明があった。

緩和ケア部会について、浦川部会長から、緩和ケア強化のために、国がんから示された都道府県別緩和ケアの分析結果を踏まえ、その情報を活かして県内の問題点を再認識していくとの説明があった。また新型コロナ感染症拡大の影響により、山陰東部で予定していた研修会や緩和ケア研修会の開催は未定となっている現状報告があり、その他、可能な範囲で研修等を計画したい旨説明があった。

地域連携部会について、大山副部会長から、がんパスの連携に関する活動の説明があり、新型コロナ感染症拡大の影響を受けて例年のがんパス講演会が中止になるとの報告後、今年度末に県内東中西部をオンラインで結んだディスカッションの計画について説明があった。また、がんパスの普及がなかなか進展しないのが課題とされた。

手術療法部会について、大石部会長からがん種別の手術成績をデータ化していくこと、及び手術用デバイス臓器や施設の枠を超えた情報共有を行い、全体的な情報把握を目指すと説明があった。そのために、まずは各病院が院内の状況を把握することから始め、セミナー等の開催等、今後の計画について説明があった。また、がんの質に関する調査が昨年度で終了したとの報告が併せてあった。

化学療法部会について、福田部会長から、がん化学療法の安全性の向上を図ることを目標として、当院では現在 irAE 対策に取り組み、マニュアル作りを始めているとの説明があった。各病院においても化学療法の安全性に対する問題点を抽出し、プランを立てていきたいとの計画が示され、Web 会議により、各病院と必要な情報共有を行っていく旨の説明があった。

放射線治療部会について、吉田部会長から、県内で質の高い、安全な放射線治療を提供することを目標とする旨の説明があった。県内では放射線治療を受けられる施設や、専門医が少ないこともあり、今後は専門医の増員や施設同士の連携を図り、放射線治療を受けられていない状況にある多くの患者さんに安定的した放射線治療が提供できるよう、放射線治療の質の向上を目指すとの説明があった。

3. 今年度の協議会活動予定及び活動報告について

武中委員から、資料 3 に基づき、今年度の協議会活動予定について説明があった後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、予定が中止、延期となるなど活動が困難になっている状況について報告があった。

鳥取県立中央病院の中村委員から、がんフォーラムについて今年度の開催も難しい状況であるとの説明の後、他病院の今年度の方針について質問があった。武中委員から当院は再開のめどが立っていないと説明、鳥取県立厚生病院の吹野委員から、鳥取県立厚生病院では 9 月と 3 月に市民講座の開催を予定していると説明があった。協議の結果、現段階では引き続き状況をみて判断することとした。なお緩和ケア部会・浦川部会長から緩和ケア研修会の開催は、指定要件でもあるため、開催可能とするか否かについての確認があり、武中委員から県担当者へ指針等の確認及び、情報収集をおこなうよう依頼がされた。

4. 鳥取県からの提案

鳥取県健康政策課藤本氏から、資料 4 に基づき、令和 2 年度の予算における県内のがん対策関連事業について、がん予防としては喫煙対策、健康づくりに向けたスマホアプリを活用した個人へのインセンティブの提供、胃がん対策として市町村が実施する検査費用の助成等について説明があった。続いてがん拠点病院の機能強化として、国立がん研究センターと連携し、がん診療連携拠点病院の QI 研究のデータを基にした県内における治療の質向上を図るほか、放射線治療専門医の育成として、当院に専門医を増員するための経費助成、鳥取県立中央病院にがんセンターが設立されたことを受け、県内東西部の連携強化を目的としたテレビ会議システムの導入の方針

が示された。中でも、テレビ会議システムの導入については、これから病院間で話し合いの上、運用を検討していく旨の説明があった。

また、追加資料に基づき、鳥取県がん症例対照研究について、鳥取県特有のがんリスクの要因の究明を目的とし、現在あるデータからでは把握できていない原因を明らかにするため、がん患者及び、健常者を対象にしたアンケート調査を実施するとの説明があった。

5. その他　鳥取県における地域がん・生殖医療ネットワークの構築について

大石部会長から、2 月の協議会においても提案のあった、生殖医療ネットワークの構築について、経緯と現状の説明があり、前相談支援部会長と健康政策課と相談したプランの提案があった。本県におけるプランとして、既存のがん診療連携協議会を活用し、相談支援部会に付随した組織として立ち上げ、県内の不妊治療指定医療機関にも参加を求めること及び、部会員ではない場合は「その他協議会会長が必要と認めた者」として委嘱する等の説明があった。また、名称をがん生殖医療分科会とすること、構成員、ネットワークの取組、相談員向けの研修、リーフレットや講演等の情報提供等、具体的な計画案の説明があった。なお、構成員は、化学療法部会から 1 名参加いただきたい旨、福田部会長へ打診しており、化学療法部会からは大石部会長が参加し、分科会長は谷口医師へ依頼したいとの考えが示された。協議の結果承認され、今後、現在仮称とされる名称と構成員の追加について再検討した上で、修正可とした。

〇報告事項

1. がん診療連携協議会作業部会員の決定について

武中委員から、資料 6 に基づき、各作業部会の会員について、各病院における今年度からの部会員が報告され、部会員については内諾済みであるとの追加説明があった。

2. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会各部会に関する報告

⑴がん登録部会について

岡本部会長から、最近のがん登録の状況と生存状況確認情報についての報告があり、鳥取県へ情報提供の申請をすることにより、当該病院からのがん情報を利用することが出来るとの説明があった。また、院内がん登録のカバー率の推定結果と扱いについて説明後、協議議題について報告があった。

⑵相談支援部会について

吉岡部会長から、今回は動画の配信形式で開催され、相談員研修のスケジュールについて、今年度及び来年度は変則的なスケジュールとなっているとの報告があった。